

## 目標【基本コンセプト】（たたき台）

総合計画及び都市計画マスタープランに掲げる「都市拠点」に係る在り方について検討を進めるにあたり、都市拠点基本構想の目標（目指すべき方向性、基本コンセプト）の共通認識を図り、検討をすすめていきます。

### 1 これまでの検討会での全体に対する主な意見等

- ・20年後を展望したまち
- ・若者が戻ってくるまち
- ・高齢者が元気になるまち
- ・多世代間交流が生まれるまち
- ・生活弱者が取り残されないような検討
- ・周辺の街が疲弊するのではないかと危惧への対応
- ・市民の皆さんがより快適に暮らしやすく集まる場所として考える視点
- ・京丹後市としての新たな玄関口
- ・地域外からの人に来ていただくという視点
- ・都市拠点の検討と最新技術による地域ネットワークを同時に議論
- ・未来に向かって発展するために京丹後新駅の検討

### 2 若者ワークショップで検討する方向性（テーマ）の提示内容

- ・市内外の若者が思う故郷京丹後とは
- ・市内事業家と考える京丹後市の新たな可能性
- ・市民生活を充実させるために期待する都市拠点の具体的な機能
- ・都市拠点と市全域の接続に係る検討

### 3 若者ワークショップキックオフイベントでのキーワード等

- ・「交流」「世代を超える」 ➡ 世代をこえた交流
- ・「若者」「第3の居場所」「娯楽施設」 ➡ 気軽に集える空間
- ・「ほどよい田舎感。でも都会感ほしい」「まちをエリア化」 ➡ メリハリ（エリアに都会感を出す）
- ・「地域のコミュニティ」「気軽に」「ご当地」「地域資産の活用」 ➡ 活性化につなげる
- ・「シェア」「不便を変える」「僻地にバス」 ➡ 望ましい公共交通

これまでの検討会での意見等や若者ワークショップ

キックオフイベントのキーワードなどから



20年後を展望した都市拠点には

- ・いろいろな人があつまる場所で、
- ・そこで、いろいろな人と交流ができ、
- ・そこには京丹後ならではのものが生まれ・発信される

ことが求められていると読み取れます。



この場所の目標（基本コンセプト）として

## ○都市拠点の目標・基本方針

### 目標（目指すべき方向性）

例）人が集い、人がつながり、新しい価値を生み出す